

コーヒー豆について

■ MIZUYAMA FARM／水山農園の紹介

MIZUYAMA FARM（水山農園）（※1）は、グアテマラの Yepocapa という標高 1,000～1,250 m の山岳地帯に位置し、火山灰土の積もったミネラルたっぷりの広大な熱帯地域にあります。

農園主の JORGE（ホルヘ）は現地マヤの血を引く「ホセさん」をリーダーとしたスタッフ達と共に環境に配慮した農法管理・環境管理（※2）を徹底しており、常に現代にふさわしいコーヒー農園のあり方を模索しています。ただの「美味しいコーヒー」というだけではなく、その 1 杯に秘められた「嗜む方への生産者の想い」を皆さまにお届け出来れば幸甚に存じます。

（※1）“水山” 農園の由来について：

JORGE は 2001 年、1 年間仙台市に住み大学生活（留学生活）を送りました。その滞在を通じて日本が大好きになりました。

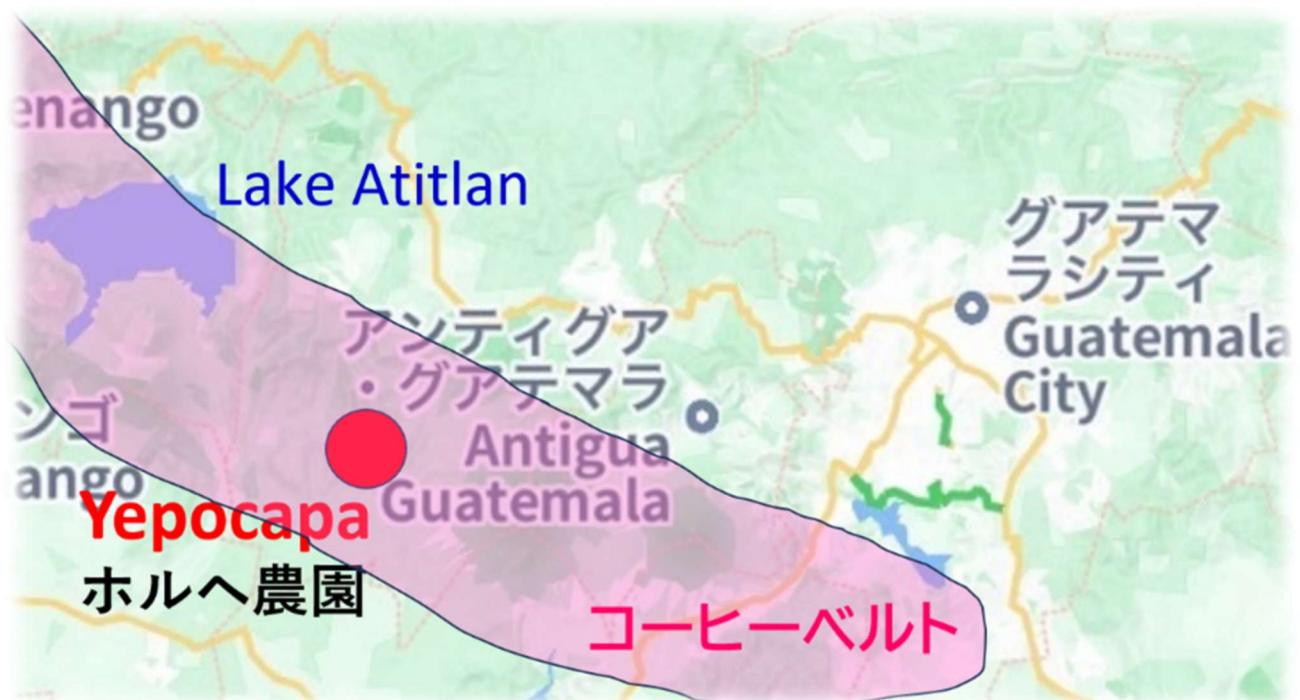
◆ Yepocapa の農園のある山々からは豊富な水が湧き出すこと

◆ JORGE は日本が大好きなこと

から、「水の湧き出る山」＝『水山』として、彼の農園に『MIZUYAMA FARM（水山農園）』と名付けました。

（※2）農法管理・環境管理について：

JORGE は例えば 1 ヘクタール開墾したら隣接する 1 ヘクタールは未開墾のまま自然を保全するように農地を広げています。また、コーヒーの木は直射日光が苦手な適度な木陰が必要な植物なのですが、例えばコーヒーの木とバナナの木を交互に植えるなどして効率的な農法を取り入れています。さらには、山頂部（＝標高の高い所）に天然のダムを造り、乾期には自ら敷設したパイプラインを伝わせて農作物に水分を供給するなどして、なるべく電力に頼らない農法を考案し実践しています。



★品種：

Arabica / Sarchimor Marsellesa（アラビカ種 / サルチモール マルセレサ）

★農園の広さ：

100 ヘクタール（その内半分の 50 ヘクタールは自然保護区として未開拓）

※100 ヘクタール≒東京ドーム 21 個分とお考えください。

★標高：

1,000～1,250m

★農園のある地域の年間降水量：

約 3,000mm

★雨季と乾季：

雨季は 5 月から 10 月、乾季は 11 月から 4 月

★コーヒー豆の収穫期：

収穫は 10 月から始まります。

★コーヒー豆のランク：

標高から判断すると、上位 2 番目の HB（Hard Bean／1,200～1,400m）になります。

※最高ランクは SHB（Strictly Hard Bean／1,400+m）



